



コロラドを滑らずして

アメリカを滑ったと言うなけれ

You have not skied the America unless you ski Colorado.

Ski the sanctuary of the sky



コロラド州

コロラド・ロッキーマウンテン

天空のサンクチュアリ

魅惑のスノーリゾート

どこまでも続く白銀の山並み

アメリカ・コロラド州ロッキーマウンテンに抱かれて滑る至福のとき
標高3,900mに広がる天空のパウダーリゾートを味わう

雄大な山々が連なるロッキー山脈。
そのもつとも標高の高い位置にコロラ

ド州はある。ゴールドラッシュに沸いた西部開拓時代を思わせる古き良きア

メリカの風情を残しつつ、現在では近代的な都市に進化し続いているアメ

リカ中西部、コロラド州。州には標高

4,000mを超える山が54峰あり、

サークルズと呼ばれるそれに続く山は、さらに700以上ある。まさにコ

ロラド州は、ロッキーマウンテンそのものと言つても過言ではない。

成田からユナイテッド航空のボーイ
ング787ドリームライナーの直行便
で約10時間。ロッキーマウンテンの山

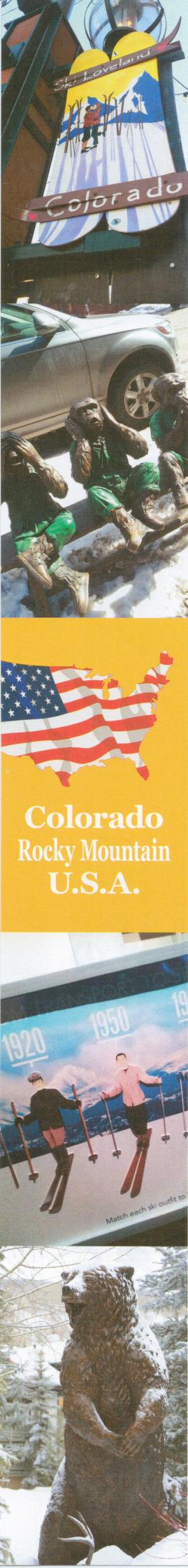
並みを模したというデンバー国際空港に到着する。昨年就航したこのデイリー運航の直行便により、日本からデンバーへのアクセスが便利になつた。

コロラド州はロッキー山脈を中心としたアウトドアスポーツが盛んな地。四季をとおし自然豊かなこの地を訪れる人々でにぎわっている。4つの国立公園を持ち、なかでもメサベルデ国立

公園は世界最初に登録された世界文化遺産だ。この風光明媚な山岳に近代リゾート開発がなされ、今や26カ所の全米屈指の一流スノーリゾートを有するまでになり、年間1,100万人ものスキーヤーが国内外から訪れている。

Snow Resort of Temptation

Rocky Mountain



VAIL

SNOWMASS

ASPEN MOUNTAIN

A collage of images showing skiers on slopes, snow-covered mountain peaks, and ski resort buildings.

Special thanks

ユナイテッド航空
コロラド州政府観光局
デンバー観光局
ヴェイル観光局
スノーマス観光局
アスペン観光局

Photo

前田俊二
Vail Resorts
Vail Marriott Mountain Resort
スキージャーナル

またコロラド州はグルメが集うことで知られ、オーガニック野菜や自然食品にいち早く注目した、Farm to table（地産地消）によるメニューも豊富である。さらにロッキー山脈から湧き出る水を利用した地ビールの生産量は全米一を誇っている。そしてこの自然を保つため、環境保全にも力を入れており、人と自然界の共存が上手に行なわれている州もある。

今回はコロラド州を代表する3つのスキーリゾートを紹介する。「ヴェイル」「スノーマス」「アスペンマウンテン」である。スキーリゾートごとに独自の特徴を持ち、世界中からスキーヤーが訪れるノーリゾートだ。

雄大なロッキー山脈がもたらす豊富な積雪と、極上のパウダースノー。その魅力をあますことなく堪能できるリゾートでは、初級者から上級者まで楽しまれ、友人同士からファミリーまで、それぞれのスタイルに合わせたスノーライフを計画できるだろう。そしてアメリカならではの雄大な自然と、豪快に滑る楽しみを見えるはずだ。

アメリカ・コロラド州、これまでにない、プラス1のスキーの楽しさを満喫できるに違いない。

VAIL Resorts

www.vail.com



究極のパウダースノーと 洗練されたリゾートを楽しむ至福

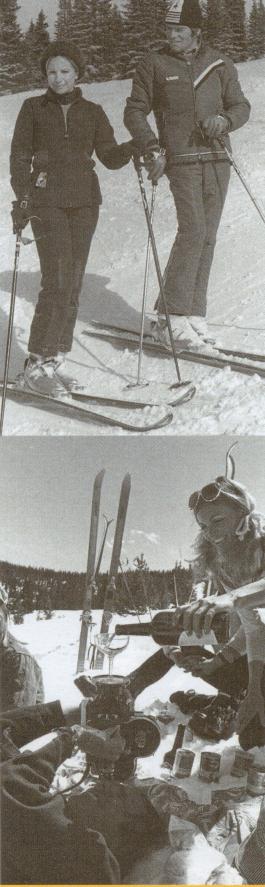
今や全米を代表するスキーリゾートと言つても過言ではないヴェイル。デンバー国際空港から車で約2時間。その山麓に広がるリゾートは、まるでひとつ街のようだ。スキー場とは思えない高級ホテルにコンドミニアム、ショッピングエリア。リゾートは3つのエリアに分かれており、「ゴールデンピーク」「ヴェイルビレッジ」「ライオンズヘッド」を無料のシャトルバスが絶えず巡回している。

そのリゾートビレッジの目前に広がるゲレンデもまた雄大で奥深い。まずはゴンドラに乗り「フロントサイド」をたっぷり滑る。そしてさらにその奥には、「バックボウル」と「ブルースカイベイスン」。ヴェイルのトレイン数は193本。そのほとんどが上級コー

標高の高さと良質の雪で、極上のスキーキーを堪能できる

スになつていて。とても一日では滑りきれないことは一目瞭然。グルーミングされたフロントサイド、新雪に恵まれればオフピステを思いっきり楽しめます。自然を感じることのできるブルースカイベイスンでは、ツリーランを楽しむ。まさに、それぞれの楽しみを見出だらうか。今シーズンからはシーズンパス（エピック・パス）で世界4カ国、22のスキーフieldを滑ることのできるパス券も登場。日本ではニセコを無料で5日間滑ることができる。世界各国からここに魅了されたスキーヤーが集うヴェイル。この冬ヴェイルを訪れてみてはいかがだらうか。





上右／広大なゲレンデはパウダー、ツリーラン、グルーミングパークと多彩なレイアウト

上左／パウダーだけではなく、しっかりとグルーミングされたコースも樂しみたい

下右／イルミネーションが美しいナイター用のスケートリンクで楽しむ子供たち

下左／リゾートタウンでは現在でも新規の高級コンドミニアムが建設されている



Colorado VAIL U.S.A.



世界中のワインを
目前でセレクトして
くれるレストラン
のワインカーブ。さ
すがセレブのリゾ
ートである



山岳リゾートとあ
なぞってはいけない。
毎日空輸される新
鮮な食材が健啖家の
舌を満足させて
いる



2015シーズンに、
FISアルペンスキー
世界選手権がヴェ
イルとビーバークリ
ークで開催される

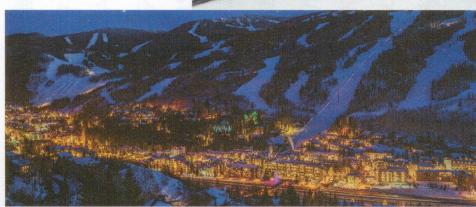


Vail Marriott Mountain Resort

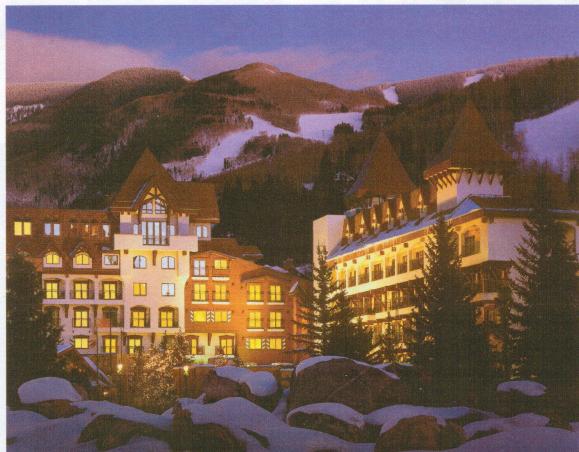
ヴェイルマリオットマウンテンリゾート

<http://www.marriott.com>

715 West Lionshead circle Vail Colorado
81657



四季折々の自然が楽しめるオールシーズンリゾートとして人気のホテルである。ヨーロッパのシャトーを彷彿させる建物は、落ち着いたログハウス風のインテリア。高級感あふれる客室には広いバスルームが完備され、リラックスできるようレイアウトされている。部屋から山を眺めるベランダも造られており、ヴェイルの自然を感じることができる。また、館内にはプール、レストラン、ジムが完備されている。ゲレンデへは、徒歩でフロントサイドへ。また、シャトルバスを利用すれば各エリアへの移動も便利だ。ヴェイルならではのリゾートを満喫できることだろう。



開放感あふれる
アスペン最大規模の
スキーエリア

スノーマス Snowmass
www.aspensnowmass.com/

上／アスペンの山並みを望む開放感あふれたゲレンデ 左・右／ゲレンデ脇に立ち並ぶコンドミニアムやホテル。どこからでも山頂にアクセスできるようにリフトやゴンドラ、Jバーが設置されている

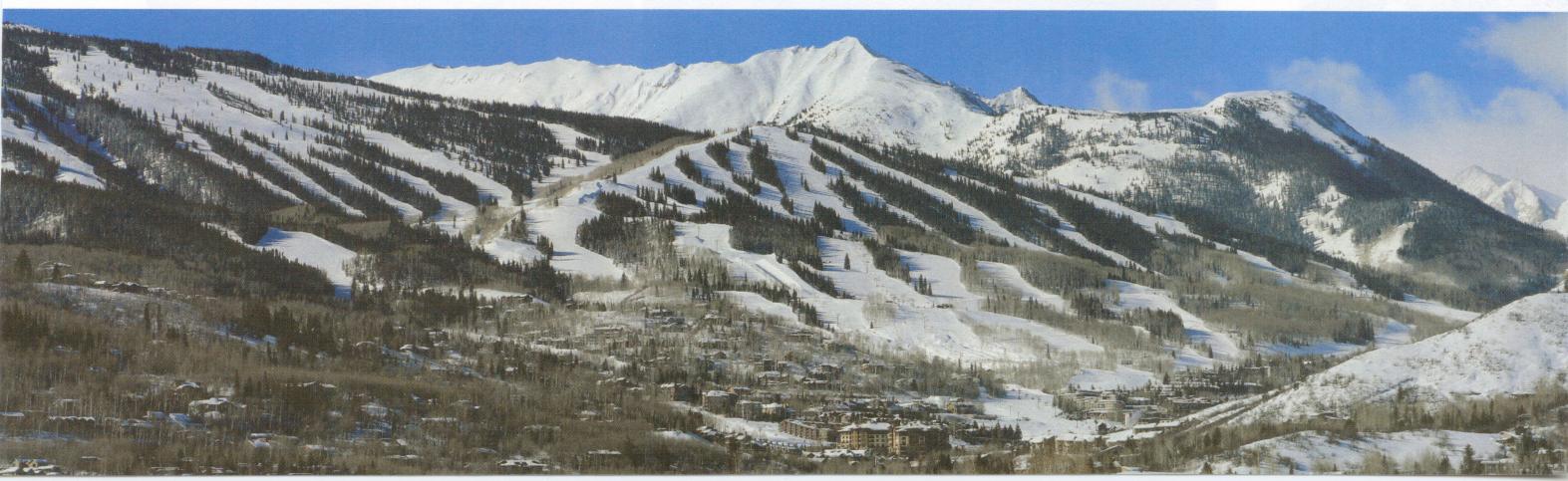


右／夕陽に山が染めれば、アプレスキーの始まりの時間
左／山頂付近ではナイターならではのアクティビティで子供たちを楽しませてくれる



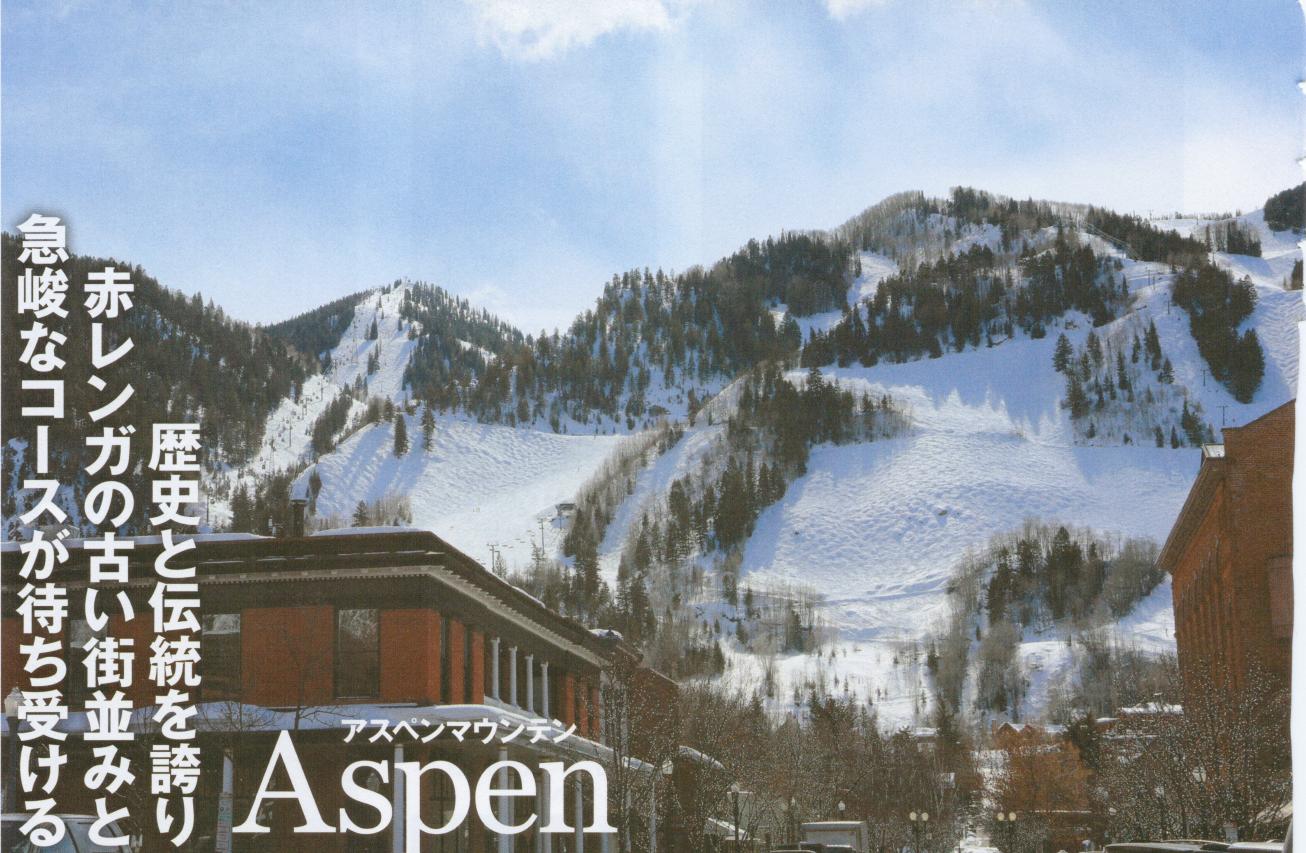
右／山頂レストハウスでは大人も子供も楽しめるコンサートが毎週金曜日の晩に開催される 左／イルミネーションが美しいレストラン、ショッピングエリア

アスペンエリアでは最大規模を誇る、スノーマス。トレイン数は94本。コースとしては緩やかな中級斜面が多い。リフトとJバーで上がる山頂の「サークエリア」。ここからだけ望むことのできる「スノーマス・マウンテン」の頂はなんと4,295m¹。その頂を眺めながら滑るエキスパート向けの「サークルヘッドウォール」と「イーストボウル」は、スキーヤーを満足させることまちがいなし。またスノーマスは、ヴィレッジとゲレンデを一体化したレイアウトでリゾートを開発している。そのためアプレスキー（アフタースキー）のためのイベントや施設も充実している。陽が落ちたあとに山頂のレストハウスで開かれるコンサート、漆黒の闇に燃え上がるキャンプファイヤーなど、地ビール片手に、アメリカン・スタイルの大人の時間を楽しみたいスキーリゾートである。





**Colorado
Snowmass
&
Aspen Mountain
U.S.A.**



**歴史と伝統を誇り
赤レンガの古い街並みと
急峻なコースが待ち受けける**

アスペンマウンテン
Aspen

Mountain
[www.aspensnowmass.com/
aspen-mountain](http://www.aspensnowmass.com/aspen-mountain)



山の地形を活かしたコースは急斜面が続く中上級者向け。コブ斜面にも挑戦してみよう

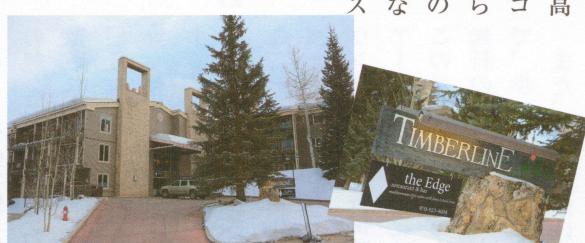


趣のある街並みには、宝飾店、デザイナーズブランド店と高級ブティックが軒を連ねている



アスペンエリアには、4つのスキーフィールドがある。「アスペンハイランド」、「バターミルク」、「スノーマス」そして、「アスペンマウンテン」である。スノーマスから車で約30分。歴史と伝統という言葉で表わされ、全米で2番目に古い歴史を誇るアスペンマウンテンに到着。このスキーフィールドが一流と呼ばれる由縁は、長い歴史とそこに集う人々に作りあげられてきたものだ。

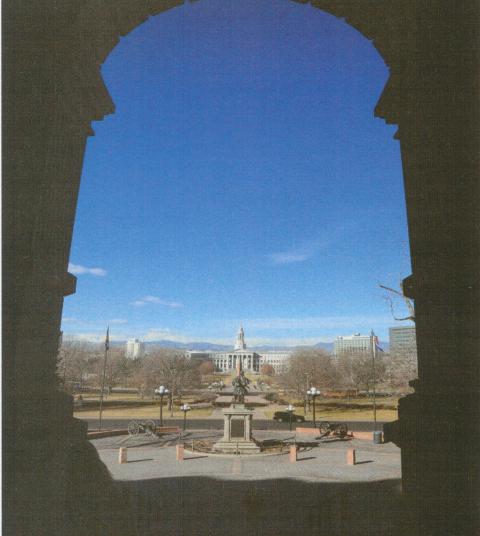
アルペンスキーの世界選手権大会が開催されるなど、コースの難易度は言うまでもなく、急斜面の地形を活かしてレイアウトされた上級者向きのスキーフィールドである。ゴンドラに乗り標高3,418mの山頂から、急斜面やコブ斜面を滑り降りる醍醐味はここならではの豪快さ。ロッキー山脈の上質の雪、古い街並みへと滑り込むような急斜面、ダイナミックで手強いエキスパートパターンに挑戦してみたい。



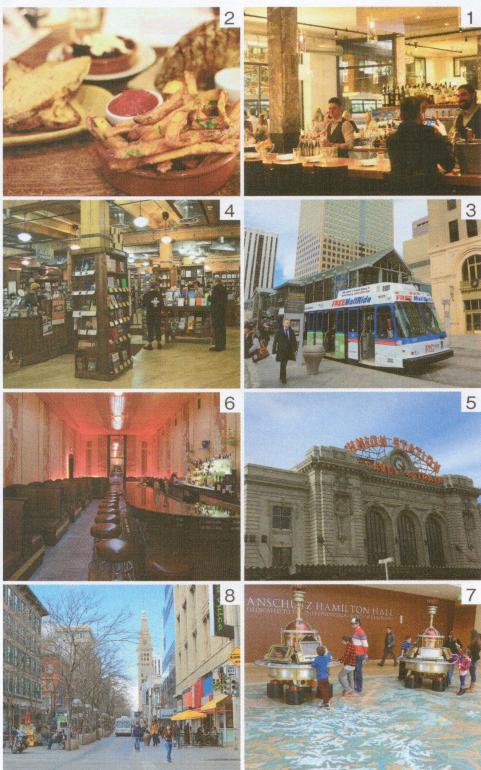
Timberline ティンバーライン

P.O. Box I-2 690 Carriage Way
Snowmass Village, CO 81615
Tel: 970-023-4000 Fax: 970-923-3936
<http://www.thetimberline.com/>

スノーマスのスキーフィールドは、ゲレンデサイドと宿泊エリアが一体化されていて、スキーフィールドと宿泊施設からも可能になっている。ここに宿泊してアスペンエリアのスキーフィールドへ移動するにも便利だ。高級ホテルもあるが、ファミリーや長期滞在向けのコンドミニアムが多く、景観も自然を活かした開発がなされている。このティンバーラインは3階建てのコンドミニアム形式。キッチン、リビング、寝室と宿泊人数に合わせた客室が用意されている。部屋の玄関口からスキーを履いてゲレンデへ移動できるのもうれしい。ウェルカム・カントリーコンサートでは、日本曲を演奏してもてなしてくれた。



州議事堂から眺めると、近郊に雪を抱いたロッキーの山々が街を取り囲み、ここがコロラド・スキーの玄関口だと感じる



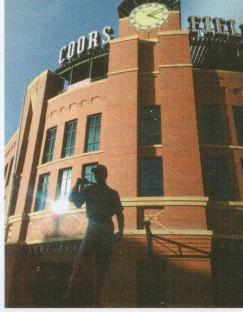
1、2／地産地消を推奨しているデンバーはグルメの街。地元で生産された食材や地ビールは、食通もうならせるほど味で訪れる人々を魅了している 3／16番ストリートの無料循環シャトルバス「フリー・モールライド」 4／ロードー地区の歴史的な街並みに建つレンガ造りの趣ある書店 5／新しく生まれ変わった「ユニオン駅」。駅周辺は再開発によりホテルや人気店が集まりにぎわいを見せている 6／格式と歴史を誇るホテルのバー。アールデコのデザインが美しい 7／「コロラドヒストリーセンター」のタイマムシン。恐竜の化石や野生動物のジオラマなどがあり子供たちに大人気 8／16番ストリートはビジネス、観光の中心地としてにぎわっている

1、2／コロラド・スキーの玄関口、環境に優しく自然豊かなデンバーで、「自然」、「食」、「文化」に触れてみよう。

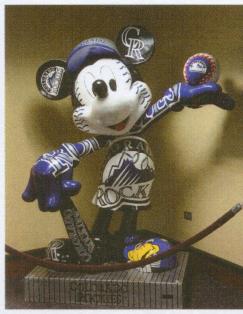
3、4／地元で生産された食材や地ビールは、食通もうならせるほど味で訪れる人々を魅了している 5／16番ストリートの無料循環シャトルバス「フリー・モールライド」 6／ロードー地区の歴史的な街並みに建つレンガ造りの趣ある書店 7／新しく生まれ変わった「ユニオン駅」。駅周辺は再開発によりホテルや人気店が集まりにぎわいを見せている 8／16番ストリートはビジネス、観光の中心地としてにぎわっている

9／4大スポーツの野球、バスケットボール、フットボール、アイスホッケーのプロチームの試合を作りたての地

10／そして、ここを本拠地とする米国



MLBコロラド・ロッキーズのホームスタジアム「クアーズ・フィールド」。観客席の標高はちょうど1マイル



バックヤードツアーでは、コロラド・ロッキーズのマスコットが迎えてくれる



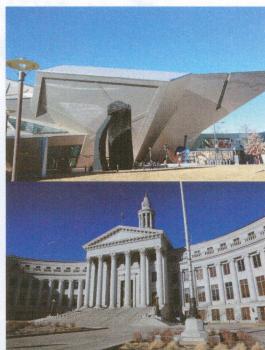
「Bサイクル・シェアリング」と呼ばれる、無料で自転車が借りられるレンタルシステム。これを利用して観光するのもお薦めだ

右上／「デンバー美術館」には、現代アートからネイティブ・アメリカンの歴史的なコレクションまでと幅広く展示されている

右下／コロラド州裁判所、重厚な建物が観光客の目を引く



パブリックアートで親しまれるコロラドコンベンションセンターの会議場をのぞき込むこの巨大な青い熊は、ローレンス・アーチェントによる「I See What You Mean」（あなたの言いたいことはわかりますよ）という作品



デンバー(コロラド州)

DENVER

www.visitcolorado.jp
www.denver.org

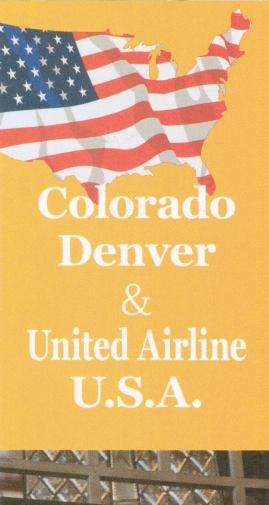
ここでデンバーは文化、芸術が発達し、観光客やビジネスマンでにぎわうダウントンの16番街では、さまざまなアートが街の風景に溶け込んでいる。この通りは自動車の交通規制がされ、無料のシャトルバスが循環しているので、歩いての観光がお薦めだ。

また、街で見かける「Bサイクル」は無料のレンタル自転車。これを利用して、自転車専用道路に沿って街を散策。美術館、自然科学博物館、オペラハウスで、歴史や芸術に触れることも

デンバーならではの楽しみ方である。そして、ここを本拠地とする米国

かつてゴーラドラッシュと呼ばれた時代に、金を求めて東から来た開拓者たちがこの地に街を造り始めたのが象徴している。別名「The Mile High City」。マイル・ハイシティと呼ばれ、ロッキー山脈から東に約20キロ、標高1,600mに位置する、自然と現代社会がうまく融合された街である。

時代に、金を求めて東から来た開拓者



観光名所の時計台D&Fタワーに隣接し、観光拠点としてアクセスの良いホテルである



真っ白なリネンに木目を活かした落ち着いた雰囲気の室内



The Westin Denver Downtown

ザ・ウェスティン デンバー ダウンタウンホテル

www.westindenverdowntown.com

ウェスティン・デンバー・ダウントンホテルは、市内でも観光地として有名な16番街に近く、ビジネスマン、観光客に人気のホテルである。レストラン、インドアプール、そしてビジネスセンターも完備。ここを拠点として、コロラドコンベンション

センター、デンバー美術館、ビューエル劇場、デンバー ナゲッツの本拠地やペープシセンター、クアーズフィールドでのコロラド・ロッキーズ観戦、地ビールツアーなど、ダウンタウンのおもな観光スポットへ徒歩で行くことができる所以便利だ。

Transportation



ユナイテッド航空 united.com

冬のコロラドへ ユナイテッド航空デンバー直行便 毎日運航

ボーイング787 ドリームライナー

米国本土7都市へデイリー直行便を運航しているユナイテッド航空では、成田からデンバーへ、日本そしてアジアからも唯一の直行便となる路線を毎日運航。これによりコロラド州のスキーがより身近になり、アクセスもぐっと便利になった。ロッキー山脈の西の玄関口、コロラド州デンバーへは、離発着の時間帯も使いやすく、約10時間の快適、便利なフライトでデンバー国際空港に到着する。

この路線の機材は、最新鋭機ボーイング787ドリームライナー。ドリームライナーは環境への配慮と機内の快適性を両立。より地上に近い気圧と湿度、改良された換気システムに加え、大きな窓、広い頭上収納など、ぜひ機内で実感してみたい。

ユナイテッド航空なら より快適なエコノミークラスも

成田—デンバーラインには、通常のエコノミークラスに加え、さらにゆったりと足元スペースが確保された「ユナイテッド・エコノミープラス」(united.comまたはチェックイン時までに購入可能)も用意されていて、マイレージプラスのプレミア会員は資格に応じて利用できる。

そしてビジネスクラスにあたる「ユナイテッド・ビジネスファースト」は、就寝時に全長約2mのフルフラットベッドシートが完備。

また、全席に設置された、オンデマンド型エンターテインメントシステムにより、映画やテレビ・音楽番組が楽しめる。



ビジネスクラス「ユナイテッド・ビジネスファースト」では、就寝時に全長約2mのフルフラットベッドになる座席でリラックスした空の旅が満喫できる



日本食はもとより、アメリカ路線ならではのスイーツも魅力のひとつ

Information

成田—デンバー直行便スケジュール

UA138	成田	17:55	デンバー	12:25	毎日	ボーイング787
UA139	デンバー	12:05	成田	16:30(翌日)	毎日	ボーイング787

(上記は2014年11月10日現在、最新のスケジュールはunited.comで確認しよう)